

事務局

事務局長 大塚 正明

1. 役割と基本方針

- (1) 各部会・委員会活動を事務局として支援するほか、会員企業、行政府、関係団体とのさらなる連携を推進する。
- (2) 展示事業、保守点検事業の着実な実行と拡大検討及び JIRA の脆弱な財政基盤を改善するための新規事業開発に取り組む。
- (3) 生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明書発行業務を担う。

2. 2020年度の主な活動項目とその成果

- (1) WEB会議システム、Webinarシステム等を導入整備し、コロナ禍であっても部会・委員会活動及び教育セミナーなどが継続できるよう環境を整え、各種支援を実施した。
- (2) テレワークによるワークスタイル革新を前提にJIRA事務所の移転を実施した。合わせてITインフラ等の整備も進め、業務効率を維持しつつオフィス費用の大幅削減を実現した。
- (3) 有料セミナーについてWebinarによる試行を開始し、セミナー開催に向けて基本的な環境構築と運営のノウハウの取得が進んだ。本年度の経験を活かし、より効果的・効率的なWebinar開催を目指し改善を進めたい。
- (4) 展示事業については、ITEM2021にて初めてのハイブリッド形式の開催を目指し準備を進めた。REAL展示に於いてはWEBによる事前登録システム、出展社ブースで来場者証スキャンによる情報提供システムを用意した。また、WEB展示においてはその付加価値を向上させるため、学会プログラムとWEB展示を紐づけるリンク機構を企画し実装準備を終えた。
- (5) 本年度に於いて、75件の生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明書発行を行った。

3. 2021年度の活動計画

JIRA 会員に対する付加価値の創造を常に念頭に活動に従事する。

JIRA が掲げる「JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2025」の 4 つのビジョンを実現するための基盤として事務局は以下の活動について推進を図る。

- (1) 事務所に移転に伴い従来の事務局メンバーが集合し、事業を推進・完結する形から、在宅勤務を主体として事務局駐在メンバーが少数であっても事業継続可能な運営スタイルを確立する。
- (2) 2020 年度コロナ禍の影響で保留となった部会員、委員会員の教育、研修を 2021 年度より推進し、部会・委員会活動の継続性を強化する。また、ニューノーマル時代に即した部会・委員会活動の変革の中で、浸透された WEB 会議による部会・委員会活動を常態化させる。そのために必要なインフラ整備を拡充し、参加し易い環境を整備する。
- (3) 会員企業との協力により人材確保の仕組みを構築し、出向・直接雇用も含め部会・委員会の人材確保を強化する。

- (4) 会員企業に対する付加価値向上ために、2020 年度より新規事業として、スタートしたウェビナーを主体とした有料セミナー事業の企画・運営を軌道に載せる。また、事業として 3 年後には 1 つの柱となるべく成長を図る。
- (5) 会員企業はもとより、行政府、アカデミア、関係団体との更なる連携を推進する。新たな曲面を迎えた展示事業の方向性を見極め、時代にあう展示事業の企画、着実な実行の検討を図る。
- (6) 2021 年度も継続延長とされる、「生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明書」発行業務を担う。